

# 防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）の各コースの概要



# 自然災害に備えて 防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）

平成28年度 第2期

内閣府（防災）

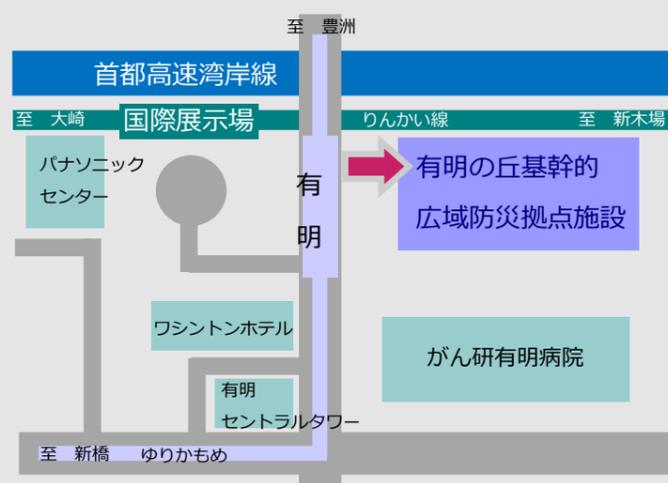
内閣府（防災）では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、国や地方公共団体等の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。

その一環である有明の丘基幹的広域防災拠点施設を会場として実施する本研修は、防災スペシャリストに求められる知識と能力を、災害リスクや防災に関する法制度などの基礎的な内容から災害対策の個別課題、災害対策本部運営のための技術を体系的に学ぶことができます。

## ■会場

### 有明の丘基幹的広域防災拠点施設

東京都江東区有明3丁目  
 ●アクセス  
 りんかい線 国際展示場駅より徒歩4分  
 ゆりかもめ 有明駅より徒歩2分



## 平成29年 開催日程 (1/24~3/1)

日	月	火	水	木	金	土
1/22	23	24	25	26	27	28
		防災基礎				
29	30	31	2/1	2	3	4
	警報避難			応急活動・資源管理		
5	6	7	8	9	10	11
	被災者支援		災害への備え			
12	13	14	15	16	17	18
	復旧復興		指揮統制			
19	20	21	22	23	24	25
	対策立案		人材育成			
26	27	28	3/1	2	3	4
	総合防災					

有明の丘基幹的広域防災拠点施設は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報のとりまとめや災害応急対策の調整を行う「災害現地対策本部」等が置かれる首都圏広域防災のヘッドクォーター及び広域支援部隊等のベースキャンプ、災害医療の支援基地として、東扇島地区（川崎市）の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。

# 研修カリキュラム

【平成28年度 第2期】

「防災基礎」災害対応の基礎を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
1月24日	<b>防災基礎総論</b> 防災・危機管理の基本的な考え方を学びます。	<b>防災行政概要</b> 防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学びます。	<b>火山のメカニズムと実態</b> 火山災害の発生メカニズムと、災害による被害を理解し、地方公共団体の対応を学びます。	<b>風水害のメカニズムと実態</b> 風水害の発生メカニズムと、災害による被害を理解し、地方公共団体の対応を学びます。	<b>地震・津波のメカニズムと実態</b> 地震・津波災害の発生メカニズムと、災害による被害を理解し、地方公共団体の対応を学びます。
1月25日	<b>災害法体系</b> 災害対策基本法・災害救助法などの理念や適用範囲の概要を学びます。	<b>防災計画</b> 防災計画の法的な位置づけと防災基本計画等の内容を学びます。	<b>災害対応過程と態度を学ぶ</b> 災害発生前後の地方公共団体の対応について具体的な事例に沿って学びます。		<b>全体討論・閉講</b> 防災力アップのため、災害対応の基本について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考えます。

◇コースコーディネーター◇  
牛山素行（静岡大学）

「復旧復興」復旧から復興政策を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月14日	<b>復旧復興総論</b> 被災者・被災地の復旧・復興の理念とプロセスの全体像について学びます。	<b>災害廃棄物処理</b> 復旧・復興の出発点となる災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点について、事例に基づき学びます。	<b>公共基盤の復旧(基盤復興Ⅰ)</b> 被災地の再建・復興の基盤となる、道路・公園・基盤施設・農業施設など公共インフラの復旧について学びます。	<b>仮設住宅(生活復興Ⅰ)</b> 生活復興の拠点となる仮設住宅における県・市町村の役割分担、見直し・仮設と建設仮設の意義、課題、用地選定・確保、管理運営等の課題について学びます。	<b>コミュニティ再生(社会復興)</b> 地域社会の再生(つながり・コミュニティの継続と活性化)について事例を通して学びます。
2月15日	<b>市街地の復興まちづくり(基盤復興Ⅱ)</b> 土地区画整理事業など市街地の基盤を再整備する復興まちづくりの意義と課題を事例に基づいて学びます。	<b>住まいの再建(生活復興Ⅱ)</b> 被災者個人の生活再生とその基盤となる被災者の住まいの再建について体系的に学びます。	<b>地域産業の復興と雇用確保(産業復興)</b> 地域社会の活力と被災者の雇用確保のための産業復興について事例に基づいて学びます。	<b>復旧復興演習(復興計画の策定体制)</b> 被災地域における災害復興を総合的に推進するための復興計画の策定について演習形式で学びます。	<b>全体討論・閉講</b> 復興力アップのために、学んだ復旧復興対策を事前にごどのように準備しておくのか、事前復興について考えます。

◇コースコーディネーター◇  
中林一樹（明治大学）

「災害への備え」災害事前対策を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月9日	<b>「災害への備え」総論</b> 自助・共助・公助による減災や被害予測など減災対策の基本的な考え方を学びます。	<b>「災害への備え」としての地域防災計画</b> 自治体が地域防災計画や地区防災計画を具体的な施策として、どのように災害の備えに活用するのかを実践的に学びます。	<b>行政のBCM</b> 行政におけるBCMの意味と策定のポイントについて学びます。	<b>企業防災</b> 企業が災害時に果たすべき役割を認識し、企業と行政が連携した防災活動について学びます。	<b>防災教育</b> 地域に根ざした防災活動を実施するための防災教育について学びます。
2月10日	<b>「災害への備え」ワークショップ</b> 地方自治体の防災行政における自助・共助・公助の実践的な推進の仕方についてワークショップ形式で学びます。	<b>住民啓発・災害教訓の伝承</b> 住民啓発、災害教訓の伝承について学びます。	<b>地域の自主的な防災活動</b> 住民の自主防災組織、地域の企業やNPO等の自主的な防災協力について学びます。	<b>災害ボランティア</b> 災害ボランティアや企業、市民団体、個人等の自発的な防災協力について学びます。	<b>全体討論・閉講</b> 防災力アップのため、減災対策について学んだことを、受講者が自らの地方自治体でどのように反映させるのかを考えます。

◇コースコーディネーター◇  
丸谷浩明（東北大学）

「指揮統制」指揮統制と災害対策本部運営を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月16日	<b>指揮統制総論</b> 災害対策本部組織を統制していくための理論を学びます。	<b>リーダーシップ</b> リーダーシップの理論と指揮命令を行うための要求事項を学びます。	<b>危機対応組織のリーダーの役割(指揮統制の視点と原則)</b> 危機対応組織のリーダーに求められる指揮統制の視点と原則について学びます。	<b>災害広報演習</b> 地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。	
2月17日	<b>危機対応組織のリーダーの役割(各スタッフの役割と機能)</b> 危機対応組織に求められる各スタッフの役割と機能について学びます。	<b>トップにとっての災害対策本部運営</b> 危機対応組織のトップがどのように災害対策本部を運営していくのかについて学びます。	<b>指揮統制の現状</b> 大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語ります。	<b>全体討論・閉講</b> 防災力アップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考えます。	

◇コースコーディネーター◇  
林春男（防災科学技術研究所）

「警報避難」警報の伝達や住民の避難誘導対策を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
1月30日	<b>警報避難総論</b> 警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学びます。	<b>避難勧告等の判断・伝達</b> 避難勧告等の判断と伝達方法について学びます。	<b>警報等の種類と内容</b> 警報等の種類と内容、伝達を学びます。	<b>風水害における警報と避難</b> 風水害における警報と避難の実務について学びます。	<b>風水害におけるタイムライン計画(演習)</b> 風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法を演習形式で学びます。
1月31日	<b>土砂災害における警報と避難</b> 土砂災害における警報と避難の実務について学びます。	<b>土砂災害の事例に学ぶ(演習)</b> 土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学びます。	<b>避難場所・避難所の認定</b> 住民等の避難行動の目的となる避難場所・避難所の種類とその設置要件を学びます。	<b>避難場所・避難所の適否判断演習</b> 災害ごとに避難場所・避難所の適否判断をするうえでの行動を演習形式で学びます。	<b>全体討論・閉講</b> 防災力アップのため、警報避難について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考えます。

◇コースコーディネーター◇  
井ノ口宗成（静岡大学）

「対策立案」被災状況の分析と発災時の災害対策立案手法を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月21日	<b>対策立案総論</b> 災害対応における作戦の立案の考え方と情報統括、活動サイクル、体制について学びます。	<b>当面の実行計画の構造</b> 当面の実行計画の果たすべき役割と基本的な構造について学びます。	<b>効果的な地図作成手法</b> 統合された情報システムとGISの活用の有効性について学びます。	<b>災害対策本部運営演習</b> 災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学びます。	
2月22日	<b>計画立案のプロセス</b> 当面の実行計画の立案のプロセスについて学びます。	<b>事前の災害対応計画の構造</b> 事前の災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造について学びます。	<b>効果的なマニュアル作成(演習)</b> 災害対応の事例を基に災害対策本部マニュアルの作成を演習形式で学びます。	<b>全体討論・閉講</b> 災害対応マネジメントにおける計画立案について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるのかを考えます。	

◇コースコーディネーター◇  
林春男（防災科学技術研究所）

「応急活動・資源管理」応急活動と人・物の資源管理を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月2日	<b>応急活動・資源管理総論</b> 応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学びます。	<b>地方公共団体間の相互応援と受援計画</b> 災害時の行政職員等による人的資源の確保について学びます。	<b>活動拠点・環境の確保</b> 応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等の確保について学びます。	<b>緊急消防援助隊と自衛隊の災害派遣</b> 緊急消防援助隊と自衛隊の災害派遣活動の実態と課題について学びます。	<b>資源管理演習</b> 災害対策本部における資源(人的、物的、空間・サービス)の確保、管理における留意点などを演習形式で学びます。
2月3日	<b>救援物資の調達</b> 救援物資の調達に関する実務と課題について学びます。	<b>救援物資ロジスティック演習</b> 救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを演習形式で学びます。	<b>警察災害派遣隊の活動と緊急輸送路の確保</b> 警察災害派遣隊の概要と救援物資の輸送等が必要となる緊急輸送路の確保について学びます。	<b>救援物資の輸配送</b> 救援物資の輸配送に関する実務と課題について学びます。	<b>全体討論・閉講</b> 防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な応援体制について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考えます。

◇コースコーディネーター◇  
宇田川真之（人と防災未来センター）

「人材育成」災害対応における人材の育成を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月23日	<b>人材育成総論</b> 人材育成の必要性や戦略、法律、計画を学びます。	<b>訓練・研修の実際</b> 国や地方公共団体が実際に実施している訓練の事例を学びます。	<b>訓練・研修企画手法</b> 防災訓練・研修を企画する際のポイントを学びます。	<b>訓練企画運営実践Ⅰ(状況付与型図上演習)</b> 訓練手法のうち状況付与型図上演習の一つである、災害対策本部運営訓練を経験するとともに、さまざまなシナリオを用いた状況付与型図上演習の考え方を学びます。	
2月24日	<b>訓練企画運営実践Ⅱ(討議型図上演習)</b> 訓練手法のうち討議型図上演習の一つである災害対応者のインタビューによる追体験演習を経験するとともに、さまざまな素材を用いたケースメソッドの考え方を学びます。		<b>人材育成プログラム作成演習・閉講</b> 様々な訓練・研修を組み合わせた人材育成プログラムの作成手法や留意点について学びます。		

◇コースコーディネーター◇  
黒田洋司（消防科学総合センター）

「被災者支援」被災者支援を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月7日	<b>被災者支援総論</b> 被災者支援の全体像を学びます。	<b>避難所のライフサイクル</b> 避難所のライフサイクルを学びます。	<b>災害時要配慮者のための避難生活支援</b> 災害時要配慮者のための避難生活支援を学びます。	<b>医療による被災者支援</b> 医療による被災者支援を学びます。	<b>避難所のライフサイクル(演習)</b> 避難所のライフサイクルを演習形式で学びます。
2月8日	<b>災害救助法と生活再建支援</b> 災害救助法と生活再建支援法の位置づけや手続きなどの概要を学びます。	<b>避難所運営の実際</b> 事例を基に避難所運営の実際を学びます。	<b>多様な主体による被災者支援/被災者支援の個別課題</b> 専門職能における被災者支援と被災者支援の個別課題を学びます。	<b>生活再建支援業務</b> 家屋の被害認定から罹災証明の発行と罹災証明を基にした一連の生活再建支援業務を学びます。	<b>被災者支援のタイムライン策定(演習)/全体討論</b> 避難所運営と被災者支援について学んだことをもとに被災者支援のタイムラインを策定します。

◇コースコーディネーター◇  
田村圭子（新潟大学）

「総合防災」防災政策の検討と災害対策本部の構築を学びたい方を対象とします。

	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月28日	<b>総合防災政策</b> 総合的に防災政策を推進していくことの基本的な考え方を予防対策から応急対策への流れに沿って学びます。	<b>被害抑止政策</b> 防災政策のうち、被害を抑止するため総合的な対策を水害と土砂災害、地震、緊急輸送路に対する対策について学びます。		<b>災害対策本部体制(演習)</b> 災害対策本部体制を構築するために必要な体制、空間レイアウトなど事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを演習形式で学びます。	
3月1日	<b>リスク評価と対策への展開</b> 防災政策の前提条件となるリスク評価と防災政策への展開について学びます。	<b>応急活動政策</b> 災害対策本部における重要業務と応急活動の実態について学びます。		<b>防災政策演習</b> 具体的な被害想定を基に、どのような防災政策を立案して推進していくべきかを演習形式で学びます。	<b>全体討論・閉講</b> 総合防災政策立案について学んだことを、受講者がそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考えます。

◇コースコーディネーター◇  
岩田孝仁（静岡大学）

防災活動に必要な能力を確実に身につけるために、受講者が強化したい内容に応じて各コースを自由に選択し、組み合わせることで履修できます。それぞれのコースを履修することにより、「防災スペシャリスト」が実施する防災活動を体系的に身につけることができます。

※ 研修カリキュラムは、変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。